

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Dual Energy CT を用いたヨードマップによる急性膵炎の在院日数予測

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2016年4月1日～2018年10月31日まで当院消化器内科で急性膵炎の診療を受けた患者

### 2. 研究目的・方法

急性膵炎は重症度により予後が異なり、在院日数延長に影響します。急性膵炎診療ガイドラインにて、予後因子と造影CTによる重症度判定が推奨されています。Dual Energy CT (DECT) は、2つの管電圧の画像を撮影し、同時に得られたデータを解析して様々な画像を作成できます。撮影した造影CTの解析により、各組織のヨード含有量を画像化したヨードマップ、関心領域のヨード濃度を測定することが可能です。DECTを用いたヨードマップによる血流評価が急性膵炎の在院日数を早期に予測し得るかを検討する研究を計画しました。

### 研究期間

医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可後～2021年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、家族歴、現病歴、血液検査所見（アミラーゼ値）、画像検査所見（造影CTによるヨード濃度）、急性膵炎重症度、治療法、在院日数、転帰

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部内科学講座消化器内科学部門） 研究責任者：北村 勝哉

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8535